

くよみ通信

No. 27 2021/02/01

冬の青陵の森、 厳しい寒さを実感（浅野記）

今年初めての定例会は1月21日、「冬の青陵の森」の観察と整備をしながら、南側ルート（サクラの道）細川の滝（ヨウブの坂）を回りました。

散策路を歩いて行くと、以前は危険な倒木が多くありましたが、今はすっかり伐採され、歩き易くなりました。



↑冬のカツラの木

滝に着くと辺りは凍りついていて、氷柱も見え、本当に今年は寒さが厳しいと実感しました。

しかし、キツツキ（アカゲラ）の鳴き声が聞こえ、シュンランの花芽も発見することができ、春が確実に近づいているなど感じました。



→センボンヤリ（キク科）の冠毛



←今日も、整備作業にいらそしむ会員

↓シュンランの花芽



ヤブコウジ→冬に赤い実をつける。別名十両。（実は一両から万両まで5種類の同じような赤い実のなる植物がある）



「くよみ通信」のバックナンバー、読めます
(吉成市民センターのホームページのQRコード)

2021年02月の活動予定

2/4(木) 定例会

「冬の青陵の森観察会」

- ◆雪のため中止、ミーティング
- 集合 10:00 吉成市民センター
- 会員のみ参加

2/25(木) 定例会

「3/7 市民センターミュージアム in あおば 準備」

- ◆見学者の質問に答えられるよう、想定問答を勉強します
- 集合 10:00 吉成市民センター
- 会員のみ参加



↑細川の滝は凍って氷柱が見えた。今年の寒さを象徴している



地域の自然を守り育て活用する
地域の歴史・文化を研究し楽しむ
くよみ会員、募集中!